

K O I S U R U K A Z U N O S H I N B U N

馳せる夏と花輪ばやし

SUPPORTED BY
うまいもんプロデューサー

恋する鹿角新聞

vol. 01

TAKE FREE



鹿角市花輪の中心街から、東に車を走らせる。坂道を登り、少し開けたところに大きな赤い鳥居が待っていた。それが幸福神社である。鳥居が眺めているのはこの景色。町の人たちの守り神は、ここから花輪の人たちを見守っている。



リズムはきつと、
遺伝子レベルで
受け継がれていく。

花輪ばやしの役者は、数え年42歳で引退する習わしだ。これまで20年弱、横丁の“頭”を務めてきた仲野剛爾さんは、今年の祭りを最後に引退するひとりだ。「私が小さいころは、お囃子を習う子どもがたくさんいて、小学校の低学年くらいだと太鼓やパチはまだ持たせてもらえず、膝を叩いて練習させられたのを覚えています。リズムで蒸きつけ、パチさばきで魅了し、掛け声で圧倒する。昔からお囃子を聞くと血が騒いでワクワクする。今は子どもが少なくなりましたが、このお囃子は絶えさせたくない。続けたいかなくちゃいけない。そのためにできることはこれからサポートする側になっても続けていきたいと思っています」。

花輪の男たちがこれまで大切にしてきた粋な心意気を託されるのは、昨年屋台と一緒に歩き始めたという吉田翔琉くん(6歳)。緊張ぎみだった翔琉くん「お囃子好き？」と尋ねると、「うん、かっこいい」と目を輝かせる。間違いなし。これはDNAレベルで花輪の男たちに受け継がれていくものだ。

お祭りやろうぜ★

= 花輪ばやし参加者募集 =

- 単調な毎日に飽きてきた。
- 面白いことどころか、嫌なことしかない。。。
- ストレスの発散場所がない!
- テンション上がることがしたい!

…などなど、いろんな理由があつていい。みんなで“お祭りやろうぜ!”

対象 鹿角に住む若者(小学生~20代、30代)一緒に花輪ばやしで盛り上がりませんか? 詳しくは下記までお問い合わせください!

花輪ばやし若者頭協議会 0186-30-0500(MITプラザ内)

鹿角の花輪ばやしから
『世界の花輪ばやし』へ

秋田県鹿角市

2016「ユネスコ無形文化遺産」登録候補
国指定重要無形民俗文化財
花輪祭の屋台行事

花輪ばやし

8月19日~20日



花輪ねふた 8月7・8日

秋田・鹿角「花輪ばやし」は、新幹線でどうぞ。

東北新幹線・東北本線「盛岡駅」乗り換え
花輪線「鹿角花輪駅」下車

■お問い合わせ

花輪ばやし祭典委員会 電話(0186)30-0500・鹿角市産業活力課 電話30-0248
十和田八幡平観光物産協会 電話23-2019
☆URL <http://hanawabayashi.jp/> ☆E-mail info@hanawabayashi.jp





花輪独自の手繰り式「サンサ」。「サンサンサントセ、オササノサントセ、ヨイヨイヨイ」と3回唱え拍手で始める。



かつて、屋台でお囃子を奏でるのは男性のみだったが、時代の変遷により女性も演奏に加わるようになった。



町境での交渉時には、言い争いになったり、屋台をギリギリまで近づけ合うほどエスカレートすることも。



10の屋台の競流。地元の人はもちろん多くの観光客が訪れ、華やかな賑わいを見せる。

短い夏の終わりを告げる、祭り囃子 花輪ばやし



金箔や漆が施された絢爛豪華な屋台の数々。太鼓や三味線の賑やかなお囃子とともに、夜通し町内を練り歩く。毎年8月19日・20日は、鹿角が最も熱く盛り上がる2日間。国指定重要無形民俗文化財（花輪ばやし）。さあ、鹿角の夏のパワーを体感しよう。

約400年の伝統を誇る、祭り囃子。その魅力を探ってみよう。

十和田八幡平の雄大な自然に抱かれ、古くは金や銅の産地として栄えてきた秋田県鹿角市。この町に、日本三大ばやしのひとつとして評価されている夏祭り「花輪ばやし」がある。

花輪ばやしは、土地の守り神「産土神さん」として古くから地域の信仰を集める「幸福神社」に奉納される祭礼ばやしのことで、2014年に「花輪祭の屋台行事」として国の重要無形民俗文化財に指定された。10の町内から練り出される絢爛豪華な装飾屋台が町内を夜通し練り歩き、賑やかなお囃子が花輪の町に響き渡る。

1470年以前に幸福神社で火災があったため、この祭りの起源や沿革について詳しく記述されたものは残っていない。一説によると、平安時代末期にこの地方に流れてきた貴人の笛の曲に、太鼓・鉦・笛・三味線をつけたものが、江戸時代の頃に現在のような形になったといわれている。

花輪ばやしで使われる屋台は各町内に1台。前部に床のない底ぬけ形式の「腰抜け屋台」と呼ばれるもので、屋台に乗り込んだ演奏者は歩きながらリズムを取ってお囃子を奏でる。12の伝承曲の中でも、行進曲風の「本囃子」は、「花輪ばやし」といえばコレ!と言われる定番曲だ。

花輪ばやしの特徴は、夜通し実施される夜祭り

であること。なかでも最大の見どころは、JR鹿角花輪駅前広場で19日、20日の夜8時頃から行われる「駅前行事」だ。各町内の屋台が1台ずつお囃子を演奏しながら会場に入ってくる。全屋台が揃くと円陣を組み、一斉にお囃子の競演が行われるのだ。この様子はまさに圧巻。祭りが最高潮に盛り上がる場面だ。祭りは21日午前3時頃まで続き、丸2日間ほとんど寝ずに行われる。「眠くならないの?」と疑問に思うかもしれないが、花輪っ子は祭り期間中、血が騒ぎ眠くならないらしい。

子どもの頃、目に焼き付いていたのは、大人たちの粋な浴衣姿だった。

「昔から、花輪ばやしは町民にとつての「大イベント」。仕事よりも祭りを優先させてきたし、私たちにはそれが当たり前でした。」

そう話すのは、鹿角市花輪で理容店を営む佐藤清美さん(72歳)。小学校入学前から祭りに参加し、数え42歳で引退するまでの30年間以上、花輪ばやしに携わってきた。

「小さい頃、じいさんに背負われながらお囃子の音を聞いていたので、自然と耳についていました。祭りのとき、浴衣を着て颯爽とお囃子を奏でるじいさんの姿が粹で格好良く、ね。兄弟4人全員が『あんな風になりたい』と憧れていたんだ。」

都会で生活している子どもたちは、こうした親や家族の姿を見る機会が少ないだろう。しかし、花輪のように祭りの伝統が深く根付いた地域は、大人たちのいつもと異なる姿を目にするのが日常なのだ。

「この地域では、学校や家庭以外に「祭り」が人を育てる」ということがある。上下関係や挨拶などは、祭りの中で先輩や大人たちから学ぶことが多い。だから祭りを経験した子どもは、物を頼むと素直に従う。しっかりと子が多いですよ。」

町境を制する者は、祭りを制す。交渉の際に練り広げられる頭脳戦。

きらびやかな屋台や賑やかなお囃子もいいが、町境での交渉事にも祭りの見どころが隠れていると佐藤さんは話す。

「屋台が別の町内を通る際、通行許可を取るために町境で互いの屋台が向かい合い、『お通し願います』『どうぞお通りください』と挨拶が交わされます。そうしないと、通してもらえない。ときには「ちゃんと挨拶していないじゃないか」と難癖をつけて、喧嘩状態になることもある。」

交渉がうまくいけば、迎える側の屋台が乗り込む側の屋台を迎えに行き、進行方向へくると向き直って町内を先導する。佐藤さんが、興味深い話を教えてくれた。

「私が交渉役をしていたときの。隣町を通るときに、挨拶をして頭を下げたが、相手側から『頭がちゃんと下がっていないじゃないか。やり直せ!』と言われた。そこで私は『ごして頭を下げていないのが分かったんだ。お前こそ下げていない!』ということじゃないかと返したんだ。そうしたら、相手も『こりゃ、一本取られた』というような表情で屋台を回しはじめたんだ。」

まるで落語でも聞いているかのようなエピソードだ。祭りの際だけに許される屁理屈、面子、意地の張り合いも花輪ばやしの見どころだと思われる。20日未明に行われる朝話では、たびたび町境の挨拶がこじれ、屋台をギリギリまで近づけたり、お囃子合戦をしたりと、荒々しい祭りの一面を見ることができると。

こうして毎年盛り上がりを見せる花輪ばやしだが、実は年々人手不足が問題になっていると佐藤さんは話す。

「私たちの使命は、この貴重な祭りを絶やさないこと。なく後世へと伝えていくこと。そしてその想いを、若者たちへと引き継いでいくこと。すでに祭りを引退した身ですが、これからも違った形で見守ってきたいです。」

短い夏の終わりを告げる、賑やかな祭り。その裏側には、花輪の人たちの熱い闘志や、伝統を次の世代へ伝えていくための切なる想いがあった。

鹿角夏祭り

花輪ねぶた

8月7日・8日

藩政時代末期頃から伝わる七夕行事で、鹿角市指定無形民俗文化財。正面に「王将」の文字、背面に武者絵が描かれた、高さ5m余りの羽根の駒型の「オテ(大手)」と呼ばれる王将型灯籠10基が、直径2mもの大太鼓と笛の音とともに町を練り歩く。毎年、花輪ばやしとともに、花輪の夏の夜を美しく輝かせている。



大湯の大太鼓まつり

8月15日

五穀豊穡の祈りと先祖の供養を兼ねた祭り、毎年8月15日に開催される。大湯寺境内で供養太鼓が披露され、その後、大湯の町中を練り歩く。太鼓の打ち手は打者1人、補助者3人の4人1組で構成され、勇壮・華麗な演奏が披露される。直径約1.2m、胴長約1.5mの大太鼓が競演する姿は圧巻。秋田県指定無形民俗文化財。



毛馬内の盆踊

8月21日・22日・23日

秋田県三大盆踊りのひとつで、毛馬内本町通りを会場に開催されている。大太鼓と笛の囃子で踊る「大の坂」と、無伴奏の唄のみで踊る「墓句」の2つで構成。男女とも手ぬぐい(豆しばり)で細被りをして、かがり火を囲みながら常に内側を向いて優雅に踊るのが特徴。平成10年、国の重要無形民俗文化財に指定された。



十和田80周年 八幡平60周年 記念企画

1000名限定 **8060** 宿泊プラン

通常より3,000円おトク!

ご宿泊料金について

大人1名様 消費税込	
1泊2食付	1泊朝食付
3,480円(税込)~9,960円(税込)	3,480円(税込)~6,720円(税込)

●15名様以上の団体様はご利用頂けません。●入湯税が必要なお宿は別途お1人様あたり150円がかかります。●2名様以上でご予約ください(1名様でご利用頂ける施設もございます)。●子ども料金はお問い合わせください。●別途追加でご利用されたお飲み物代等は現地にてご精算ください。

お申し込み・お問い合わせ
(株)かづの観光物産会社 道の駅かづの あんたらあ
☎0186-22-0520
営業時間 9:00~18:00(12月~3月は17:00まで)
詳しくはあんたらあHPをご覧ください

設定期間 平成28年5月22日(日)~平成29年1月31日(火)

〈定員に達し次第終了となります〉
宿泊施設についてはあんたらあHPをご覧ください
お電話にてお問い合わせください。

<http://www.ink.or.jp/~antler/>

国指定重要無形民俗文化財

毛馬内の盆踊

淑やかな着物を纏い、優雅な踊りを舞う。大太鼓と笛の音色は、北国の夏を美しく彩る。

8月21日~23日

毛馬内盆踊会場にて開催

- 十和田ICより車で3分
- 鹿角八幡平ICより車で20分

お問い合わせ
十和田八幡平観光物産協会
☎0186-23-2019
<http://www.ink.or.jp/~kemanai09/>

毛馬内盆踊り振興会(コナンカード協同組合)
☎&FAX 0186-30-3939



GOOD JOB KAZUNO

鹿角はワンダーで溢れている。ホント、鹿角いいね！



世の中の、そうね、大体のことは、さくっと

寿賀婆に聞け！



お題 なぜ寿賀婆は、料理上手なのか。

スナック寿賀

場所は花輪・親不孝通り、ひと際妖しく浮かぶ紫色の看板と、なんとも重厚なトビラは、まさにディープ鹿角への入り口。御年80歳を超えた寿賀婆(本名:浅石シガさん)が織り成す、めくるめく寿賀ワールドへようこそ。鹿角市花輪字強向11 ☎0186-23-3192 営業時間 17:00~23:00 定休日 不定休

鹿角市産業部産産業課活動監修 おしほの 活かやー (寿ドライブインのみそラーメン 750円) たしかに、見た目は普通のみそラーメンだ、間違いない。だが、大量のすりおろされた「んにん」がスープに溶け込んでおり、我々の(みそ)「めん」という既成概念を軽々と打ち砕く。「なんこんなんに？」と疑問を店主の大澤寿賀さんにぶつけたところ「味噌にはんにんくがよくなるでしょ」となんと簡潔でわかりやすい回答。確かにパツパツと伸びるけど尖ってはいない、スレープと種の絡み方も絶妙だ。別メニューで「んにんラーメン」というメニューもあるが、これは醤油味だそうだが、じゃあどうしてこんなにみそラーメンではないのか。とにかく一度食べたら虜になると間違いない。ぜひ、寿ドライブインでお試しあれ。

鹿角妄想喫茶

クインのピザトースト



クインのとても分厚いピザトーストは、とてもチズが伸びる。チズがとって伸びるといことは、何か嬉しいことのように世の中では認識されているらしいが、30代独身男子のテイタイムには必要ない。熱々なのはわかっていても伸びてくると、さう思いついて、でも伸ばさず、窓際の彼女に失笑されるという、聴すかしい経験をしている。半分をお皿に置いて、半分を納豆を切るようにくるくる。熱々のトーストが冷めてしまいうだら、まさに鬼の骨頂だ。一般的なピザトーストの食方法は、折たたんでチズが垂れてしまおうを防ぎ、そのまっ口中にのける。しかし忘れてしまっはいけない、クインのピザトーストは、とても分厚いんだ。顎関節がとって心配だ。かかってアバイスとくれた友人は、さういう「裂けないうで、端から食べる。彼はさう自信満々に言いつつ、クインのピザトーストマスターを気どった。しかし、ピザトーストとのファーストコンタクトを、チーズヤンズが十かかかっていないパンの耳から入るのには、やっぱり我慢できない。もうこの際チズは切れなれない。どこまでも伸びてしまっ、ピザトーストで窓際の彼女とチズ電話、たいたいな。そんなクインの日曜日。

KAZUNO STANDARD

アパート温泉

花輪から大湯温泉郷に向かい、さらに奥へ進む。そこに建つアパートが「白山荘」である。なんと、このアパートの中に温泉があるという。本来は「温泉付きアパート」なのだが、一般にも開放している。中に入ると「管理人室」と書かれた部屋の小窓に入浴料と営業時間が書かれた紙が貼られており、それ以外に「温泉」の案内は一切ない。温泉は階段を降りた先にあった。男湯と女湯のそれぞれにドアがある。簡素な脱衣場の奥には、古めかしいものの、清潔感があるお風呂がある。少し青みがかった見える無色透明のお湯は熱め。じっくりと身体を芯から温まる。シンプルだけど、これ本当に贅沢だ。こんな素敵な場所がある鹿角が、なんとも羨ましくなった。



白山荘

訪れる際は、マナーを守って住人の方、地元の方へ迷惑をかけないようにご配慮願います。鹿角市十和田大湯字荒瀬56 ☎0186-37-2309 営業時間 5:30~21:30 (最終受付21:00) 料金 大人200円、子ども100円

「わがらね」

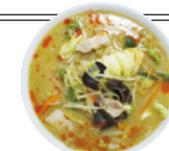


「わがらね」 いくつつか漢字を挙げてみたが、おもしろく本人に全く興味がないのだから、客の質

「せつかく食へてくれたら、なんでも、ここで私がやれることはやっやねえと。特別なことは何にもしてない。料理は手間と愛情をかけてなんぼ！」と胸を張っている。寿賀婆の料理が美味いのは、愛情あふれるこの手間の掛け方とその説明によるものかもしれない。



豚バラ肉で出汁を摂り、酒とみりんを加え、決めては地元の本職味噌。鍋に入れて3分ほど待てば、ちょうど食べ頃だ。火を通すと緑が鮮やかな山東菜は新鮮な証。根元から口に入れ蕎麦のようにチュルツとするは、寿賀婆がこう言っていて褒められる。「あら、食べるの上手くなったな。」



寿ドライブイン 鹿角市花輪字強向25-9 ☎0186-25-3052 営業時間 11:00~19:00 定休日 日曜日



コーヒーハウス

鹿角市花輪字下花輪2-1 ☎0186-23-3698 営業時間 10:00~22:30 定休日 第3水曜

KAZUNO-DE OSHIGOTO

鹿角で生きる=おシゴトするヒトたちへの訪問記。



大自然の中で かつの牛と 生きる男の物語。

秋田県畜産農業協同組合 佐藤実幸さん

農場は非常に広く、牛の群れを探すのもひと苦労。やっと見つけた群れに、声をかけながら少しずつ近づいていく佐藤さん。



秋田県畜産農業協同組合 鹿角市所 秋田県鹿角市花輪字菅提野1-2 ☎0186-25-3311 http://akb.or.jp/

緑 生い茂る牧草地でのんびりと過ごす赤褐色の牛たち。まだ小さい仔牛が群れの中を楽しそうに跳ねている。牛のそばに佇む赤キップの男性は、鹿角が誇るブランド牛「かつの牛」を育てる佐藤実幸さんだ。 取材の冒頭、少し離れた場所にいた牛の群れを「こっちに呼びますよ」と頼もしいげに言っていた佐藤さん。かつの牛たちの好物が入った紙袋を掲げながら「コーコーコー」と大声で叫ぶ「おやつ時間だ」とばかりに牛たちが寄ってくる。はずだが、今日は見知らぬ撮影隊の姿におびえているのか、なかなか近づいてこない。「なんだ、今日調子悪いなあ」とぼやく姿が愛嬌たっぷりだ。 ここは鹿角市十和田大湯にもある熊取平牧場。約150haの広々とした牧場で、およそ100頭もの、かつの牛、が放牧されている。ちなみにこの日、牛を探して佐藤さんと取材班は軽トラで爆走。いけどもいけども果てが見えない農場の広さを身をもって知った。

かつの牛は、尾去沢鉱山の銅を青森の港へと運搬するために東北地方の北部で古くから飼われてきた「南部牛」に、明治の頃「シヨートホーン種」という外来の品種を掛け合わせて品種改良された

「日本短角種。短角種という名前の通り、角が短いのが特徴で、全国で飼育されている和牛のうち短角種はわずか0.05%。大変希少性が高い牛だ。 「黒毛などの有名なブランド牛は、生涯を牛舎の中で過ごすことがほとんど。それに比べて、この子たちは夏場はずっと放牧して、昼夜を問わず、この広い牧草地で過ごしています。雨が降れば木の下で雨宿りして、好きな時間に餌や牧草を食べて、たっぷり運動し、好きな時間に昼寝して過ごす。自由にのびのびと育てることで、牛たちのストレスは減るし、筋肉が発達するので上質な低

脂肪の赤身肉になるんです。 かつの牛は、ひと口噛みしめると濃厚な旨味が広がる。この旨味こそ、広い牧草地を走り回ることでも生まれるという。 また、牧草に加えて与えているのは地元の浅利佐助商店の醤油の搾りかすや、鹿角の特産であるりんごを使ったジュースの搾りかす、飼料用稲(ホルクroppサイレージ)など、できるだけ地元のものを使っているのもこだわりだ。 たっぶりの愛情を注いでかつの牛は育てられていく。食べられる人の顔を胸に、佐藤さんは今日も牛たちを呼びかける。「コーコーコー」と。

伝説の8060スタンプラリー 全16か所 A賞...スタンプ4つ B賞...スタンプ3つ 応募期間: 平成28年5月22日(日)~11月30日(水) 応募方法: スタンプ用紙に各エリア1か所ずつ、合計3か所以上のスタンプを押してください。4か所以上A賞、3か所以上B賞に応募できます。 お問い合わせ: 道の駅 かつのあんたらあ ☎0186-22-0520 http://www.ink.or.jp/~antler/ 〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字新田町11-4 《スタンプ用紙はこちらでお受け取りください》

NORI CHANG AKITA-KAWABATA 秋田市でかつの牛が食べられるお店 肉バル 電話: 010-0921 秋田県秋田市大町5-1-25 ☎018-853-6285 http://www.norichang.com



KAZUNO INFORMATION

鹿角の美味しいもの、おもしろいもの。鹿角への思いを馳せるモノ。



Switch on! 鹿角の元気にスイッチオン!

鹿角きりたんぼFM

http://fm791.net

FM79.1MHz

人気プログラムをご紹介します!

アニソン店長 ▶ 毎週水曜 22:00 より放送

アニメに詳しいわけじゃない、もちろん音楽に造詣が深いわけでもない…。ただただ、アニソンの魅力に取り付かれた店長と店員が、アニソン好きになりスナーのために、アニメやゲームの関連曲をお送りしている番組。

※再放送は全曜 9:30～、土曜 18:30～、翌週火曜 9:00～



十和田八幡平観光物産館 ▶ 毎週木曜 22:00 より放送

鹿角の特産品や、観光情報。協賛企業の事業紹介やイベント紹介。鹿角にある、ありとあらゆる「鹿角いいね!」を紹介している番組。ネットでは知り得ない、時事ネタ・旬な情報をお届けします!

※再放送は全曜 14:30～



鹿角きりたんぼ FM は、インターネットによる同時放送(サイマル放送)をしています。全国どこからでも聞くことができますよ! 鹿角きりたんぼ FM の Web サイトから、もしくは直接サイマルラジオホームページからアクセスしてください。

▶ きりたんぼ FM Web サイト
<http://fm791.net>

▶ サイマルラジオ Web サイト
<http://www.simulradio.jp/>

独特の食感クセになる



とんぴ舞茸コンフィ

旬の短い鹿角の味・とび茸。オリーブオイルに漬け込み、柔らかさとシャキシャキ感にこだわった一品。パスタに合わせて、ワインのおつまみに。にんにくが効いていて食欲をそそります。

※通販サイト「鹿角いいね!直売所」取扱あり

これでもか!とりんごを入れました



鹿角りんごパイ「極」

鹿角産のりんご「ふじ」を3玉分を使った無添加のりんごパイ。優しい甘さと手作りの温かさをお楽しみください。「極」を知ったら、もう普通のアップルパイには戻れないかも…。

※通販サイト「鹿角いいね!直売所」取扱あり

桃とカレー合う!



かつの北限の桃カレー

鹿角特産の「北限の桃」をカレーにしちゃいました。桃のほかに、生姜と玉ねぎ、豚肉、人参、にんにくなどが溶け合って、さっぱりとしたフルーティなカレーです。

香ばしさがたまらない。



比内地鶏炭火焼き とりびあん (冷凍)

炭火焼した比内地鶏を味付け。そのまますぐに食べられるので、とっても手軽!口に運べば、香ばしい炭の香りがふわっと漂います。上から醤油味、塩味、味噌味の3種類。おつまみにぴったり!

※通販サイト「鹿角いいね!直売所」取扱あり

KAZUNO SERVICE STATION ANTLE

道の駅鹿角 あんとらあ

直売所情報

道の駅かつの あんとらあ

国道 282 号線沿い、十和田湖と八幡平を結ぶ観光拠点「道の駅かつの あんとらあ」。祭り展示館では、今回特集でご紹介した「花輪ばやし」の豪華絢爛な屋台が勢ぞろい。祭りの賑やかさがいつでも体験できます。また、手作り体験館では、きりたんぼや南部せんべい、組み木細工の体験ができます。このあんとらあにある「観光物産プラザ」の直売所でおススメの商品 4 アイテムをご紹介します!

ACCESS

◇お問い合わせ先

鹿角市役所 (観光担当)
TEL.0186-30-0248
秋田県鹿角市花輪字荒田 4-1
<http://www.city.kazuno.akita.jp/>

(株) かつの観光物産公社
TEL.0186-22-0555
秋田県鹿角市花輪字新田町 11-4
<http://www.ink.or.jp/~antler/>

列車を利用する場合 ※最速の時間を表示(要時刻表参照)		航空機を利用する場合 ※便によっては運休期があります	
東京	東北新幹線 2時間 11分	東京(羽田)	ANA 65分
秋田	奥羽本線 1時間 33分	札幌(新千歳)	JAL・ANA 50分
青森	奥羽本線 1時間 10分	東京(羽田)	JAL 75分
		名古屋(小牧)	JAL 85分
		大阪(伊丹)	JAL 95分
		札幌(新千歳)	JAL 55分
		名古屋(小牧)	FDA 85分
		大阪(伊丹)	JAL 90分
		福岡	JAL 125分

高速バスを利用する場合 ※最速の時間を表示(要時刻表参照)	
盛岡	「あすなろ号」 1時間 31分
盛岡	「みちのく号」 1時間 20分
仙台	3時間 45分
池袋	夜行バス「ジュビター号」 8時間 30分

車を利用する場合	
◆ 鹿角八幡平 IC を利用した場合	
盛岡 IC	1 時間
八戸 IC	1 時間
仙台宮城 IC	3 時間
浦和本線	6 時間 30 分
◆ 十和田 IC を利用した場合	
大鰐弘前 IC	40 分
青森 IC	1 時間
◆ 国道 7 号または 285 号経由 103 号を利用した場合	
秋田市	2 時間 30 分



行くたびに魅力的な鹿角市。しばらくご無沙汰しておりますが、また必ずお伺いしたいですね。

鹿角市に初めて伺ったのは 2008 年 10 月、鹿角市での第 1 回授業の時に、元々でしごじやんの大竹七未さんと一緒でした。それ以来 28 回の授業を担当してきました。我ながら、よく通いました(笑)。

子どもたちの挨拶がしっかりしているのがとても印象的でした。僕は全国を回っていますが、特にそう思います。あと、学校のトイレが綺麗だったなど。「夢の教室」で触れ合った学校の卒業式にもお招きいただき、みんなと再会することが出来たのは、いまでも良い思い出です。謝恩会での校長先生のギターも素敵でした。

食事では鹿角ホルモンはインパクトがありました。あと、野獣ラーメンもすこい。2012 年に川淵キャブテンと一緒にストーンサークルに連れて行っていただいた時は、また別の鹿角の魅力を見つけた思いでした。

現役や OB のスポーツ選手たちが、「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」などを子どもたちに伝える「JFA ころのプロジェクト」。鹿角市では去年までに「夢の教室」と呼ばれる授業を 114 回開催、3216 人の子どもたちと、夢先生たちが触れ合ってきました。これまで鹿角市を訪問した「夢先生」たちが、鹿角市の魅力を語る第 1 回は、横浜 F マリノスなどで活躍した平間智和さん(ひらうち)からです。

ユメセン

JFA ころのプロジェクト

夢先生からの手紙

鹿角のいいもの、ここにあります! 鹿角いいね!直売所

インターネットで鹿角の特産品が買える!きりたんぼ、かつの牛、地酒、鹿角りんご、などなど。鹿角のいいね!を探してみよう。

鹿角いいね!直売所 人気ランキング

第1位 みそつけたんぼセット(1,000円・税込)

味噌の香ばしい香りがたまらない秋田県産のうるち米で作ったたんぼ5本と、味噌だれが付いたセットです。家庭で簡単にみそつけたんぼが食べられる!

第2位 しそまきあんず(2,268円・税込)

鹿角に古くから伝わる郷土料理「しそ巻あんず」。杏をその葉で巻き、長時間漬けた。伝統的なお茶うけです。しその香りと杏の甘酸っぱさは相性バグッ。

岩船屋 刈谷食品

株式会社かつの観光物産公社 ☎0186-23-2019

特産品販売サイト 鹿角いいね!直売所 <http://kazuno-iine.com/store>

お問い合わせ tanpo18@ink.or.jp ☎0186-23-7715 〒018-5201 鹿角市花輪字新田町11-4